

1. 科目名（単位数）	財務会計特論（2単位）	池袋	3. 科目番号	SSMP5357
2. 授業担当教員	孔 炳龍			
4. 授業形態	テキストを中心としたディスカッション		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし			
7. 講義概要	今日の財務会計は、収益費用アプローチから資産負債アプローチへと変化を遂げてきている。本講座では、日本の財務会計と、米国の財務会計や国際会計との相違を明らかにすると共に、企業の財務諸表分析を通して、優良企業の見極め方をディスカッションして教授することにする。 そこで、本講座では、学部レベルの会計学の一定の知識があることを前提に、会計情報の役立て方を、テキストをベースとしたディスカッションによって学び取ってもらう。その上で、一般企業の会計とは異なる目的を持つ社会福祉法人の会計制度について、非営利事業体ならではの特徴を含め、学ぶこととする。 社会福祉法人の会計基準は平成 23 年 7 月に改訂され、平成 27 年度予算から全面的に新基準が適用された。適用されていくことになった新基準に基づいた講義をおこなう。			
8. 学習目標	1. 会計の役割を理解し、事業経営に対する会計の重要性を理解する。 2. 会計情報を読み解き、経営改善に役立てられるようになる。 3. 一般的な会計基準と社会福祉法人の会計基準の異同を理解する。 4. 社会福祉法人の会計基準を理解し、社会福祉法人の経営に役立てるようになる。			
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	アサイメントを課すことはないが、予習・復習を前提とした講義であることに留意すること。 学期末締切りの課題レポートを課す。レポートは課題に対する的確な意見を求めるため、字数制限を設ける。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 孔炳龍『時価会計論 2つの時価会計』創成社、2021 年 孔炳龍『会計とファイナンス』青山社、2025 年 孔炳龍『社会福祉法人簿記の基礎』デザインエッグ社、2023 年 【参考文献】 会計学初学者については、 櫻井久勝・須田一幸編『財務会計・入門【第 17 版】』有斐閣アルマ、2024 年など、 一般的な会計学のテキストは優れた書が多いので、自分でよく見て理解しやすいものを一読して下さい。 その他、講義中に適宜指示する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 財務会計情報のもつ意味を理解できているか 2. 財務会計情報を活用することができるか 3. 一般企業の会計と社会福祉法人の会計の違いを理解できているか ○評定の方法 1. 講義中の発言 40％ 2. 課題レポート 60％			
12. 受講生へのメッセージ	将来、どのような企業に就職したら良いのか、また、独立して起業するのにどのように財務諸表を作成したら良いのか。本講座で学ぶことで、道標をえることができるでしょう。この講座では、受講生とのディスカッションを交えながら、進めていきます。本学の特徴である双方向対話型授業を行うためにも、予習を前提とします。学んだことを的確に知識として定着させるためには、間を空けずに復習することが肝要です。また、大学時代に会計学の講義を受講していない方についてもフォローをしますが、初回講義までに参考文献である入門テキストを読んできて下さい。			
13. オフィスアワー	別途通知する			
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】				
1. テー マ	ガイダンス・今日の財務会計の特徴			
【学習の目標】今日の財務会計の特徴を理解する。 【学習の内容】収益費用アプローチと資産負債アプローチを理解する。 【キーワード】貨幣動態、財貨動態 【学習の課題】財務会計と管理会計の違い、そして収益費用アプローチと資産負債アプローチの違いを理解する。				
2. テー マ	会計の本質と損益計算書、包括利益計算書の特徴			
【学習の目標】損益計算書から読み取ることができるものは何であるかを理解する。 【学習の内容】会計のルールが相対的な真実を求めるものでしかない以上、会計が描き出す会計数値は要約された近似値にすぎないことを理解する。 【キーワード】損益計算書（P/L）、収益、費用、売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益 【学習の課題】損益計算書が示す経営成績の本質的意味を理解する。				
3. テー マ	貸借対照表を理解する			
【学習の目標】貸借対照表から読み取ることができるものは何であるかを理解する。 【学習の内容】貸借対照表が資金の運用状況と調達先を示していることを理解する。 【キーワード】貸借対照表（B/S）、現預金、流動資産、固定資産、繰延資産、流動負債、固定負債、純資産 【学習の課題】貸借対照表が示す財政状態の本質的意味を理解する。				
4. テー マ	キャッシュフロー計算書を知る			
【学習の目標】キャッシュフロー計算書から読み取ることができるものが何であるかを理解する。 【学習の内容】事業の中で流れているお金の流れの元がどこにあるのかを理解し、損益計算書が示す経営成績や貸借対照表が示す財政状態から示される利益計算と手元に残るはずの現金が感覚としてずれている原因を理解できるようになり、キャッシュフローに基づいた経営ができるようになる。 【キーワード】キャッシュフロー計算書（C/F）、資金繰り、営業キャッシュフロー、投資キャッシュフロー、財務キャッシュフロー 【学習の課題】キャッシュフロー計算書が示すデータを経営に生かせるようになる。				

5 . テ ー マ	資産会計：棚卸資産、有価証券、固定資産、繰延資産を知る
【学習の目標】	各資産における、収益費用アプローチと資産負債アプローチの違いを理解する。
【学習の内容】	日本における資産に関する会計基準と米国基準や国際会計基準との相違を明らかにする。
【キーワード】	棚卸評価損、有価証券運用損益、減損損失、再評価モデル
【学習の課題】	資産の評価における資産負債アプローチの本質を理解する。
6 . テ ー マ	負債会計：金融負債、引当金、資産除去債務を知る
【学習の目標】	各負債における、収益費用アプローチと資産負債アプローチの違いを理解する。
【学習の内容】	負債や引当金、資産除去債務などについて資産負債アプローチと収益費用アプローチの違いを明らかにする。
【キーワード】	負債の定義、負債性
【学習の課題】	引当金の認識における資産負債アプローチの本質を理解する。
7 . テ ー マ	純資産会計：資本金、資本準備金、自己株式、新株予約権を知る
【学習の目標】	その他の資本剰余金、自己株式、新株予約権、非支配者株主持分などについて理解する。
【学習の内容】	資本と利益の違いについて明らかにする。
【キーワード】	国庫補助金、資本と利益区分の原則、親会社説、経済的単一体説
【学習の課題】	資本とは何か、利益とは何か、資本と利益の相違について理解する。
8 . テ ー マ	収益と費用を知る
【学習の目標】	これまでの収益認識・測定と新しい収益認識基準、及び費用の認識・測定を明らかにする。
【学習の内容】	実現主義、実現可能性、投資のリスクからの解放、新しい収益認識基準を明らかにする。
【キーワード】	販売基準、生産基準、現金基準、新しい収益認識の5つのステップ
【学習の課題】	収益の認識・測定と費用の認識・測定を理解する。
9 . テ ー マ	財務諸表分析①：安全性分析
【学習の目標】	企業の安全性について、財務諸表分析によって理解する。
【学習の内容】	貸借対照表とキャッシュフロー計算書を基に企業の安全性を明らかにする。
【キーワード】	流動比率、当座比率、負債比率、自己資本比率、固定比率、収支に基づくインタレストカバレッジレシオ
【学習の課題】	安全性の財務諸表分析を通じて企業の経営管理の相違を理解する。
10 . テ ー マ	財務諸表分析②：生産性分析と収益性分析
【学習の目標】	企業の生産性と収益性について、財務諸表分析によって理解する。
【学習の内容】	損益計算書、貸借対照表を基に企業の生産性と収益性を明らかにする。
【キーワード】	労働生産性、ROA、ROE、クロスセクション分析、時系列分析
【学習の課題】	生産性と収益性の財務諸表分析を通じて企業の経営管理の相違を理解する。
11 . テ ー マ	財務諸表分析③：成長性分析
【学習の目標】	企業の成長性について、財務諸表分析によって理解する。
【学習の内容】	損益計算書、貸借対照表を基に企業の成長性を明らかにする。
【キーワード】	EPS、RER、PBR
【学習の課題】	成長性の財務諸表分析を通じて企業の経営管理の相違を理解する。
12 . テ ー マ	社会福祉法人会計の基礎概念と取引
【学習の目標】	一般的な会計と社会福祉法人の会計との異同を理解する。
【学習の内容】	一般的な会計は営利目的企業を前提として考えているが、社会福祉法人は非営利事業ならではの特徴を持っている。その異同を理解し、それゆえの会計制度の異同を理解する。
【キーワード】	資金収支計算書、事業活動計算書、公益事業、収益事業
【学習の課題】	非営利事業である社会福祉法人ならではの会計制度を理解する。
13～14.テーマ	社会福祉法人会計の具体的内容
【学習の目標】	一般企業と社会福祉法人の会計基準の具体的な移動を理解する。
【学習の内容】	社会福祉法人独特の会計の在り方が一般企業会計とどのように異なるのかを理解する。
【キーワード】	社会福祉法人会計の勘定と仕訳、現金取引、事業収益、事業費・事務費、事業未収金、法人本部経費・資金繰入処理 給料手当、法定福利費、退職共済制度の掛金支払処理、有形固定資産
【学習の課題】	一般の企業会計と社会福祉法人会計の異同を理解し、社会福祉法人の会計担当者となっても対応できるようになる。
15 . テ ー マ	社会福祉法人会計の決算
【学習の目標】	社会福祉法人の財務諸表を読み取り、経営に活かすことができるようになる。
【学習の内容】	資金収支計算書と精算表を理解し、経営改善に活かす方法を理解する。
【キーワード】	決算、事業活動計算書、資金収支計算書、精算表
【学習の課題】	経営改善のために、社会福祉法人の財務諸表を作成することが可能になる。